

boot2docker upgrade

1.3 での新機能など

Kazuhiro NISHIYAMA

第5回 コンテナ型仮想化の情報交換会@大阪
2014/11/14

自己紹介

- 西山 和広
- @znz (twitter など)
- Ruby Committer

boot2docker とは?

- docker が動く VM (仮想マシン) を簡単に作成や管理
- docker 専用 vagrant のようなもの
- Docker Inc. が作成

インストール

- `brew install boot2docker`
- GUI インストーラもある
 - 使ったことがないので詳細は知りません

使い方

- `boot2docker init`
- `boot2docker up`
- `boot2docker ssh`
- `boot2docker down`
- `boot2docker delete`

boot2docker init

- ISO ダウンロード
- ssh 鍵作成
- VirtualBox の VM 作成

boot2docker up

- VM 起動
- docker コマンド用環境変数の情報表示

ホスト側の docker から操作

- 環境変数は自分で設定
 - up 時に表示された export などを実行または
 - \$(boot2docker shellinit)
- あとは普通に docker コマンドで使うだけ

boot2docker ssh

- docker ホスト側に ssh で入って作業可能
- vagrant ssh のようなもの

boot2docker down

- 使い終わったら VM 停止
- `boot2docker stop` や `boot2docker halt` でも同じ

boot2docker のアンインストール

- VM 削除
 - `boot2docker delete`
- ssh 鍵ペア削除
 - `rm ~/.ssh/id_boot2docker*`
- ISO などの削除
 - `rm -r ~/.boot2docker`

VM のディスク

- ISO : 不変部分 (システム)
- HDD : 可変部分 (docker のイメージなど)

boot2docker upgrade

- boot2docker のバージョンアップ
- VM が起動していたら止める
- ISO を更新するだけ
- **HDD 部分は使い回せる**

boot2docker 1.3 の新機能

- TLS support
- Users を自動共有

TLS support

- DOCKER_HOST=tcp://192.168.59.103:2375 から
- DOCKER_HOST=tcp://192.168.59.103:2376 に変更
- DOCKER_CERT_PATH と DOCKER_TLS_VERIFY も設定

Users を自動共有

- ホスト - boot2docker-vm - docker インスタンス
- ホストと boot2docker-vm で /Users を共有
 - Windows なら /c/Users
- `docker run -v /Users/.....:.....` で使用

boot2docker, please format-me

- boot2docker ssh で入るとホームディレクトリにあるファイル
- `authorized_keys` と一緒に `/var/lib/boot2docker/userdata.tar` に入っている

boot2docker, please format-me

- boot2docker init で tar から無理矢理 vmdk 作成
- /etc/rc.d/automount でフォーマットするための MAGIC として使用
- つまり初回起動後には不要

参考

- <https://github.com/boot2docker/boot2docker>
- <https://github.com/boot2docker/boot2docker-cli>